

学習内容報告書 フォーマット

学校名	日南市立南郷中学校
授業者	坂口 昌和

1. 単元計画

1-1. 単元名

港の町南郷を知る活動（郷土料理体験等）

1-2. 学年

1 学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

港の町南郷の郷土料理体験等を行うことで、海の資源の活用を学び地域に根ざした食文化を知る学習


1-5. 単元設定の理由・ねらい

漁協や元漁師から漁業のことを学び、地域の食材を生かした食文化を知る活動である。豊富な海の資源を活用することや地域の方々の生き方を知ることで、自分の生き方を学んでいく。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

漁業の内容や漁法等、地域の食材を生かした食文化の見識を深め、これからの自分の生き方について考えようとする態度を育む。

1-7. 単元の展開（全3時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>港の町南郷を知る活動</p> <p>1 年生（7 / 14・7 / 15・7 / 16）</p> <p>・講話 元漁師（公民館館長）の話 聞くことができた。</p>  <p>【講話の様子（公民館館長）】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の指導／話を聞く姿勢ができていた。 ・地域コーディネーターと連携し講師をお願いした。 ・プロジェクターでの説明 <p>DVDを使い、漁業や漁法の話をした。1年生のみの活動、1日1学級（講話や郷土料理体験）で行い、午後はシーカヤック体験学習をした。</p>

郷土料理体験

1年（7/14・7/15・7/16）

- ・学級単位で郷土料理体験を行った。
- ・試食・片付け



【郷土料理体験（講師による調理の様子）】



【郷土料理体験（生徒の調理の様子）】



【郷土料理体験（試食の様子）】



【郷土料理体験（片付けの様子）】

- ・教師の指導／生徒の安全に配慮した。調理体験は包丁を使うので取り扱いには十分配慮させた。
- ・生き物（カツオ）を頂くことで命の大切さや海の資源の活用について考える活動ができた。
- ・試食は学級全員で体験した。生徒の嬉しそうな様子が見られた。
- ・片付けが苦手な生徒への支援を行った。

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 3 時間中の 1、2、3 時間目

2-2. 本時の目標

講師の講話（漁業の内容・漁法等）を聞く。郷土料理体験を行い、食文化を学ぶ。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 講師の話／講師の方を向いてしっかり聞くことができた。</p>  <p>【講話（生徒の様子）】</p>	<ul style="list-style-type: none">・ファイル・筆記用具の準備を各自準備させる。・プロジェクターに漁の様子が写るのでしっかり見させる。・しっかり説明が聞けるように前を向かせる。・講師に関心をもつように姿勢を保たせる・講師に注目するよう生徒への言葉かけをした。
<p>2 学習の流れを説明する。／注意して聞いていた。</p> <p>3 調理体験／各自がしっかり体験できていた。</p>  <p>【調理体験（生徒の調理の様子）】</p>	<ul style="list-style-type: none">・物を扱うので十分気を付けて扱うように指導する。
<p>4 試食・片付け／生徒の達成感や満足感が伺えた。</p> <p>5 お礼の言葉を書いた／生徒自身の言葉で書けた。</p>	<ul style="list-style-type: none">・生徒全員に試食ができるように支援した。・自分の言葉でお礼を書くことが苦手な生徒には支援を行った。

3. 今回の活動の自己評価

- ・講師への質問や感想があり、生徒間で知り得たことを共有できたこともよかった
- ・郷土料理体験や漁法など普段知ることのできない話や体験を生徒が学ぶことができ良い機会になった。
- ・今回お世話になった地域の方々（講師・調理体験のスタッフ）への態度はよく、学校の好感度も上がった。

4. 今後の課題

・体験学習（郷土料理体験）は午前中行うことができ、試食後、シーカヤック体験学習へバスでの移動（栄松ビーチ）がスムーズにできた。ただ、講師・地域のスタッフが3日間連続での活動は高齢なため体力的に厳しかったと反省があった。来年度は1回で活動できるような計画をしていきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・特になし